

長いようで短い夏季休業が終わり、2学期が始まりました。どこの学校も9月は文化祭等の学校行事が行われ、本校も文化祭が9月9日・10日と一般の方々にも公開されました。その準備と合わせ、本校水泳部は9月16日・17日の新人戦でよいパフォーマンスをするために練習しました。

本校は17日の男子100自由形に2名がエントリーしました。ご存じの通り、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの蔓延があり、本校もその例外ではなく、残念ながら1名が棄権しました。残る1名は練習の成果を発揮して、自己ベストを大幅に更新し、来年度の春季大会の制限をクリアしました。本人もその結果に大いに満足していたようです。

その週末、23日に長水路記録会が新人戦と同じ東京アクアティクスセンターで行われました。本校からは12名が50自由形、100自由形、100平泳ぎ、200リレーにエントリーしました。棄権やスタート違反による失格がいくつかありましたが、多くの部員が初の東京アクアティクスセンター及び50mプール（長水路）であるにもかかわらず、素晴らしいパフォーマンスをしてくれました。ここでも数名の部員が来年度の春季大会の制限タイムをクリアしました。

しかし、新人戦後の練習はあまり天候に恵まれず、雷雨を伴う日が続きました。写真のような大雨の中を泳ぐことも多々ありました。今年は酷暑だったために水温も26℃より下がることがなく悪天候さえ除けば、悪くないプールコンディションだったと思います。

試合では、夏季の練習を一緒にがんばった都立上水高校がたくさん本校のスイマーを応援してくれました。声出しの応援が解禁となり、プールに歓声が戻ってきました。その声援が彼らの力になっていたと思います。試合後の反省会を一緒に行い、オンシーズンの全レースを終えました。



悪天候の時のプール



長水路記録会後の反省会にて

記録会が終わり、9月27日に本校ではプール納めを行いました。オンシーズン中に大きな事故もなく、無事に楽しくプールで練習できたことを感謝して、コースロープやフラッグなどの撤収を行いました。ここからは冬のトレーニング期間に入っていきます。

試合としては、2月に東京アクアティクスセンターで行われる短水路記録会が控えています。外部のプール施設を利用して、貴重な水中トレーニングの機会を確保して、オフシーズンでもいいパフォーマンスができるように研鑽したいと思います。応援、よろしくお願い致します。